

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

ビレッジキッズふじ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	2	0	利用児童が多いと狭く感じる事がある。部屋割りや外での活動を増やし、対策している。
	2	職員の配置数は適切であるか	9	0	0	現場により力が入られるよう、事務員や相談員がいると、職員の質も上げられると思う。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	2	1	床は平らでスロープや手すりもあり、車椅子の児童の受入れも出来ている。しかし、ジョイントマットを置いているため、段差が出来ている所もある。車椅子の児童の移動には支援員が付き添って対応している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	4	1	業務改善や問題点があった時、夕礼等で職員同士話し合い、対策を検討する時もあるが、まだ不十分である。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	1	0	保護者等向け評価表は毎年実施しており、結果の公表・共有はしている。また、普段聞かれる要望についても反映している。今年度は、評価表と別に行った事業所独自のアンケートや自立支援協議会で行ったアンケートはまだ集計が出来ていないため、共有が出来ていない。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	2	0	自己評価表は毎年HPに公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	4	1	第三者評価に繋がるまでの動きは出来ていないが、他部署からの評価を行い業務改善に繋げている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	0	0	職員へ研修案内を行い、様々な研修への参加が出来た。しかし、昨年度より内部研修の機会が減ってしまった。来年度は資質の向上にむけ、内部研修も定期的に行いたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1	0	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	1	0	今年度よりFIMを試験的に導入し、それぞれの項目を数値化することで、よりアセスメントしやすくなった。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	0	0	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	1	0	今年度から、屋外の活動として地域清掃を活動プログラムに取り入れた。しかし、固定化しやすい箇所もあるため、今後検討していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	1	0	
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	2	0	個別活動は一人ひとりに合わせて設定出来ているが、集団活動についてはまだ不十分と感じている。	

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	0	0	部屋割り決定後に、活動内容や目標、役割分担まで話し合う流れが定着した。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	0	0	支援終了後は時間的に難しいため、翌日のミーティングの場で共有している。また、日報の開示も継続して行い全員が共有しやすい状況となっている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	2	0	記録はしており、評価の際に記録を見返しながら検証と改善策を検討しているが、日常的に行うまでは至っていない。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	0	0	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	6	3	0	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	1	0	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8	1	0	必要な情報については、保護者を通じて行ったり、学校と直接連絡を取り対応している。しかし、学校によっては対応が様々で、まだ適切に行えない学校もある。今後もこちらから積極的に情報共有していきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	4	0	病院への定期受診の結果を聞き、日々の支援に反映している。また、ビレッジでの様子や保護者だけでは伝えきれない部分に関しては、保護者を介して手紙で伝えた。他にも、利用開始時に通っている病院と主治医をアセスメントシート用紙に記入してもらい、連絡先を把握している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	5	2	直接事業所からの情報共有はない。相談支援事業所が入っている場合は、情報を共有してもらっているが、基本的には保護者から様子を聞く事が多い。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7	1	1	移行先より問い合わせがあれば提供することはできるが、相談支援事業所を通じて情報提供する事が多い。卒業した利用者のケース会議があった際は、参加して情報の共有を行った。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	2	1	定期的に連絡を取り合い、必要に応じて情報の共有を行っている。また、専門機関の方の来訪も定期的にある。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	4	4	以前は児童館へ行くこともあったが、人数制限などもあり利用していないく、交流の機会もない。今後は地域交流も含め、交流する場面を作っていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7	2	0	主な会議は代表者が参加している。現場職員は自立支援協議会の研修があれば参加しているが、参加するメンバーが固定化されている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	0	0	保護者とは、連絡ノートや送迎時、電話連絡で情報共有し、半年に1度の面談時にも話し合いを行い、共通理解に努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	5	1	ペアレント・トレーニングとは言わないが、保護者から相談があった際や面談の中で、自宅でも取り組めることや、放デイで行っている事を伝え、保護者の対応力が向上するよう助言している。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	1	0	契約時に重要事項説明書の説明を必ず行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	1	0	必要であれば、他サービスについての情報提供を事業所案内冊子を使って紹介し、他サービスに繋げる事もしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	1	7	保護者向けの進路相談会を検討していたが、今年度の実施には至らなかった。来年度出来るように、現在計画を立てている。
非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	0	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	1	0	毎月、ビレッジ通信を発行している。また、保護者への情報発信としてSNSも活用している。
	35	個人情報に十分注意しているか	9	0	0	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	2	7	事業所内で行事を行った際に、地域住民も参加出来るような行事の案内まで意識が向いておらず、今年度地域住民を招待する所までは繋がらなかった。来年度は、地域へ向けて行事の案内を行いたいと検討している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	2	0	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	0	0	活動の中で、地震・火災・不審者訓練など様々なパターンを作り、活動の中で行っている。来年度も継続する。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	0	0	毎月、虐待防止チェックリストを行い、振り返りの場面を設けている。また、その際に気になる事や悩んでいる事をそれぞれに記入してもらい、ミーティングの場で話し合いを行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9	0	0	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	1	0	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	3	0	事例集作成はまだ出来ていない。日常的の中ですぐに書けるように、検温表の用紙に、ヒヤリハットの枠を作り、記入するようにしている。そのため、検温表と共に、いつでも見れる状態にしている。